

つるせ西だより



～今月の特集～
鶴瀬西交流センター
フェスティバル

第146号(10月号)2019. 10. 1

編集:鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行:富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707



③2019.6.駅ビルから富士山方向
(富士山はビルの向こうに)



②1953.1.西地域は一面の畑
(鶴瀬駅ホームの東から)



①1953.1.鶴瀬駅のホームから富士山

地域の百景
16

私たちの西地域、60年も経つと

ずい分変わるものですね。

私の古いアルバムの中から富士見村が誕生したころの写真①②が出てきました。(当時は鶴瀬村)

①は鶴瀬駅のホームから富士山を見る、②は西地域は富士山まで畑が続いていま…せんでした。

50〜60年前のこの辺はこんな感じの地域でした。近ごろは駅周辺から富士山が見えにくくなってしまいました。60年以上経た令和元年6月に駅ビルの知人宅から富士山方向③を撮ってみました。すっかり変わってしまいました。

これから100年200年先にはどうして「富士見」という名称になったの?なんて疑問をもつ方々が出るかもしれません。調べてみました。村の名称を決めるときには、難波田城資料館の資料によると「東上、城北、三ツ和、入間野、富士見、新生、三光」など、いろいろな名称の案が出たそうです。が、いずれの地区から見ても日本一の名峰は富士山、村の発展も日本一を目指してという意気込みで決まったようです。これからが楽しみです。(撮影・文/萩原編集委員)



縁日開催!

小雨模様の7月20日、第13回鶴瀬西交流センター縁日が開催された。

夏休みの初日とあって、開始時には大勢の子どもたちや家族連れが会場を訪れ、ゲームコーナーや模擬店のある一階フロアは大混雑。6時ごろには、品切れの模擬店が続出した。

まちの話

可愛い子どももこしが担ぎ出されるころに雨も上がり、公園の広場には老若男女の踊りの輪ができて、午後8時夕間に打ち上げられた花火で幕を閉じた。

まちかどウォッチング

手遊びうた(鶴瀬西2丁目)



第6保育所の交差点にあるオレンジ色のすべり台が目印の児童公園の入り口に、4つの白い円柱があります。子どもが座るのにちょうどいい高さなのでイスなのか、オブジェなのか…。

上からのぞくと表面に手遊びうたと可愛いイラストが描かれています。人通りの多い交差点の角にあるので、気づかないで通りすぎていたりする人も多いのでは。散歩の際にのぞいてみてはいかがでしょうか。(井之川)